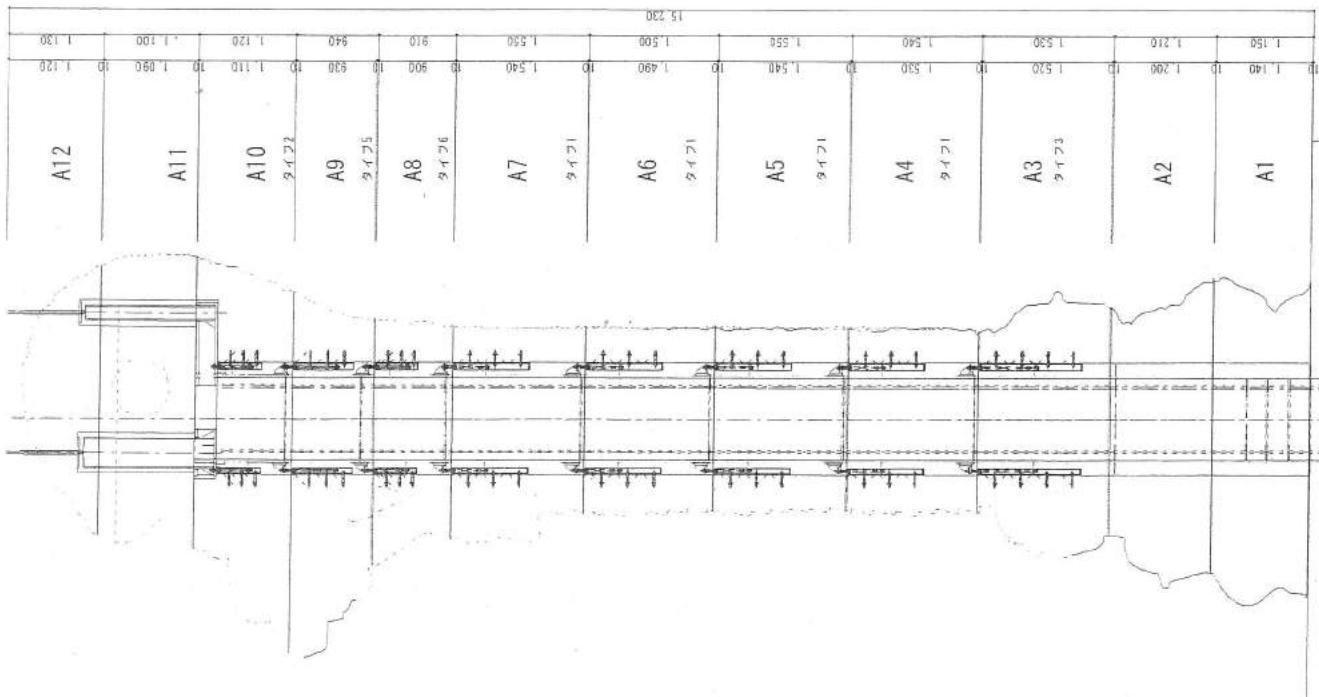
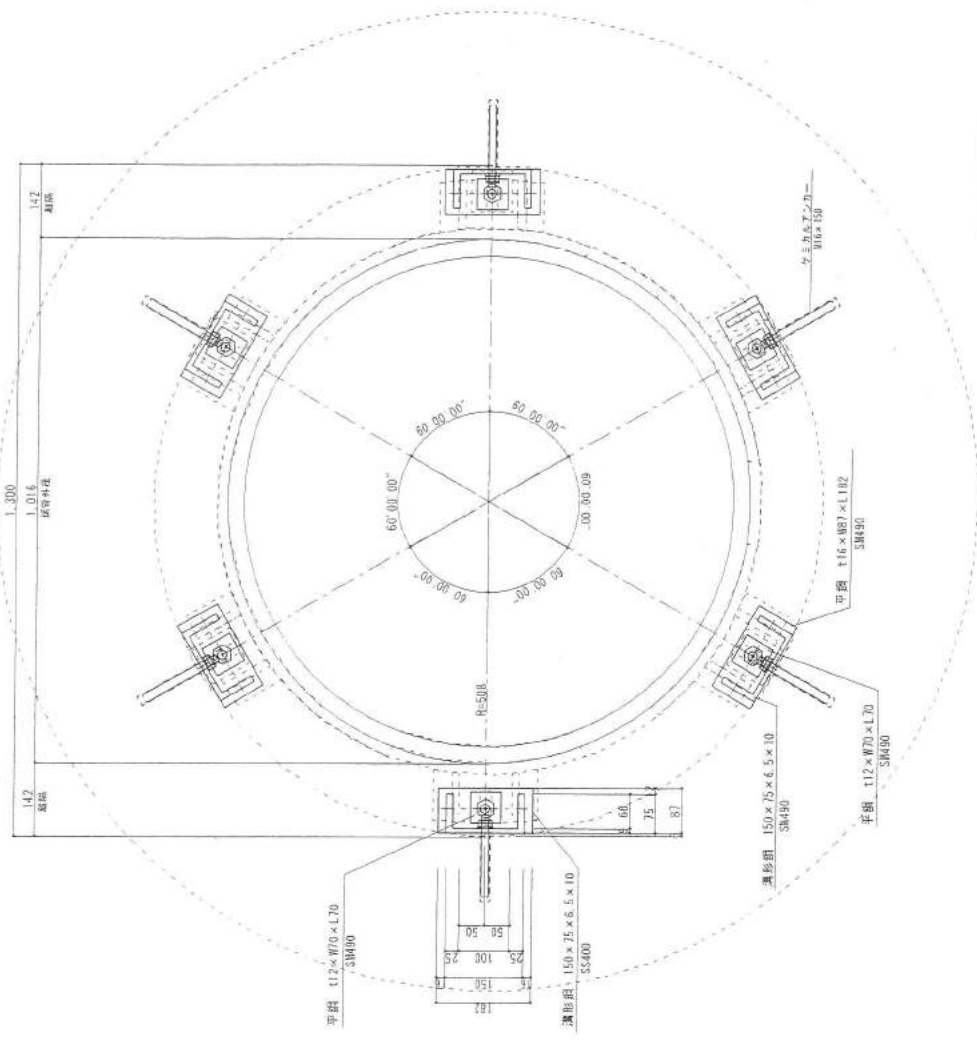


縦リブ金具配置図(1)  
(形状)



縦リブ配置平面図  
(参考配置)



※縦リブは石像のくり貫き状況に  
応じて配置(設置)すること。

事業者名	有限会社 廻り石像製作所	設計	氏名	
図体	廻り石像製作所 図面 01	図体	氏名	
図尺	図面	図尺	氏名	
図番	11 廻り石像 4 集	図番	氏名	
廻り石像製作所 図面 01				





## 杭基礎工法の選定

経済性から中掘工法を選定する。

鋼管杭  $\phi 800 \times 8$ 本 杭長  $L=24.4$ m  
琉球石灰岩を支持層として設計する

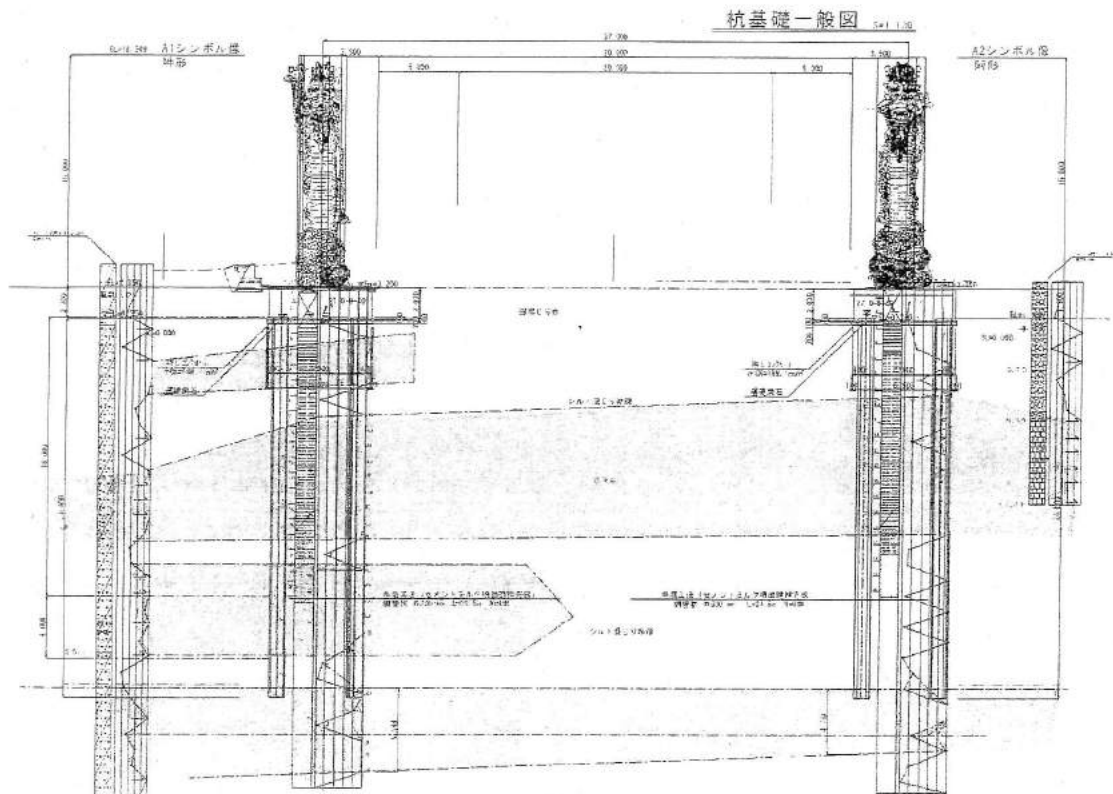
(砂礫 N値30以上)

琉球石灰岩の杭周面摩擦力を考慮し、砂礫N値30以上に支持する設計に変更する。  
なお、咩形の方が死荷重及び作用荷重が少し大きいことと土質が不利であるA2を組み合わせ、構造体を検証する。

変更設計では、リバウンド試験などから琉球石灰岩層の周辺摩擦が十分期待できると判断し、杭施工工法変更した。

## 杭の管理方法

支持杭の判断は、A1、A2側の杭1本を動的載荷試験にて、設計支持力以上であることを確認する。



## 平成27年4月臨時議会 那覇市一般会計補正予算(第1号)について

## 1.那覇・福州友好都市交流シンボルづくり整備工事(その2)の経緯

平成26年7月	平成25年度の予算で、平成24年度予算に引き続き、2基となった巨大龍像の2基分の設置を行う整備工事(その2)を発注(工期:H26.7.8~H26.12.25)
平成26年11月	基礎杭の施工中断 設計の見直し
平成26年12月	杭の加工開始 工事(その2)変更契約 工期3ヶ月延長(H27.3.24まで) 理由:資材調達の遅れ(1月)、杭設計・加工(2月)
平成26年12月	基礎杭施工再開 工事(その1)の石材那覇着
平成27年1月	基礎杭施工完了
平成27年3月	工事(その2)終了、出来高検査 ※基礎と石材2段目までで工事中断

## 2.補正の概要

●21事業:那覇・福州友好都市交流シンボルづくり事業(H27)

13節委託料(作業現場夜間警備5、6月分)

→ 492,480円\*2ヶ月 ≒ 985,000円増額・①

14節使用料及び賃借料(作業現場仮囲い及びヤード使用料5、6月分)

→ (479,520+867,239)円\*2ヶ月 ≒ 2,694,000円増額・②

15節工事請負費(残工事) ≒ 99,282,000円増額・③

土工(掘削、盛土、残土処理等)、躯体工(支柱設置、石像設置、足場、鉄筋等)、付帯工(縁石、舗装等復旧、植栽、敷鉄板設置撤去等)、外構(擁壁、照明設備等)、共通仮設費(クレーンの分解・組立、賃料等)

①+②+③ 985,000+2,694,000+99,282,000 =  
102,961,000円増額補正

## 3.今後のスケジュール(案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
臨時議会(補正)	■								
競争入札		■	■	■					
契約手続き				■					
整備工事(その3)				■	■	■	■	■	■